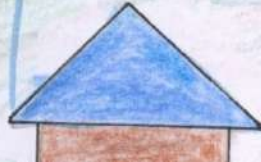


あむくんのいいのちき
まもる

おはなし



あむくんのいのちをまもるおはなし

1

これは、ある家族のお話です。

今日は、お外に雨が降っています。

(2がみえるようにずらしながら)

「ぼくは、あむ！今日は、家族でおでかけに行く予定だったんだけど、雨で行けなくなっちゃった……」



母「この雨じゃお出かけできないわね。」

父「そうだな。」

あむ「お出かけできないなら外で遊んでいいよね？」

父「だめだよ。雨がたくさん降っているから、外に出ちゃあぶない。」

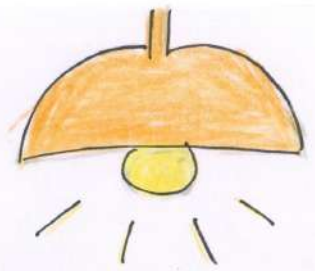
母「カミナリもなってきたわね。外にはいろいろな危険があるのよ。」

あむ「きけん？」

母「例えばね、山が崩れちゃったり、川の水がすごく増えちゃったり……」

あむ「やだ、やだ、こわいよー」

母「じゃあ、おうちの中で遊ぼうね」



おじ「お〜い。川の水が増えてきたってテレビで言ってるぞ〜」

おば「それは大変だ」

あむ「ぼく、川見に行きたい！」

おば「だめだよ。川の水が増えたら川に近づいちゃだめなんだよ。川の水はあつと

いうまに増えて流れが速くなる。流れたら大変。」

あむ「じゃあ、川を見に行くのやめる…」

おじ「あむ、いつでもひなんできるように準備しようね。」

あむ「うん！」



神「ふあつふあつふあつ。私は避難準備の神である。」

「今から皆さんに避難に必要なものを教えるぞい。」

「まずうわあ。3日分のおパンツとシャツを持とう！」

(パンツの紙をめくる)

あむ「はい！」

神「そおしてえー、『水とごはん』、これも3日分」

(水とごはんの紙をめくる)

おじ「ほうほう」

神「それからあー、『タオルと懐中電灯』

(懐中電灯の紙をめくる)

おば「了解！」

そしてみんなで避難の準備をしました。



おじ「川の水がどんどん増えてきてるぞ。テレビで早めに避難しなさいと言って
る。みんな避難するぞー」

母「そうですね。避難所にいきましょう。行動は早い方がいいですものね。」

父「忘れ物ないか。家に戻ってくるのは危ないから戻らなくていいようにし
なさい。」

あむ「わぁー！避難所って楽しそう〜！」

父「こら！ひなん所には、いろんな人いるんだぞ。」

「車いすの人、具合が悪い人、赤ちゃん…そんな人たちに迷惑をかけてはダ
メだぞ〜」

父「避難所では静かにしようね」

あむ「はい」



神「大雨や地震は、いつ、どこで、起こるか分からないもんじゃ。いつでも自分の命を守るようにしておこうね。」

保育園の避難訓練も、一所懸命にやっておぼえていこうね。」

神「もう一度、確かめるよ。」

- 1 大雨のとき、川を見に行つてはだめ
 - 2 避難するときは、水やごはんを持つ
 - 3 避難所では、家の人の言うことを聞いて、静かにする。
- わかったかな？」

神「あむくんは、避難所でおりにしていたようだね。」

おっと、雨がやんできたようだ。

じゃ、これで私は失礼するよ。ふおっふおっふおっふおっふお。」

ひとみんな

いりぐち



あむ「まま。雨やんだよ！」

母「そうね、お空に虹が出てるわよ。」

あむ「ほんとだ！きれい！」

父「避難してたから、安心だったね。あむもおりこうにできたな」

あむ「うん」

あわり。

防災学習をすすめるにあたり、異人館 店主 安倍主税さん、
宮古市役所 危機管理監 危機管理課 山崎正幸さんにご協力いただきました。
ありがとうございました。

「総合的な学習の時間」に、防災の学習をしました。

多くの方々から教えていただいたことを皆さんに伝えたいと思い、

紙しばい(幼児向け)

パンフレット(小学生向け・おとな向け)

を作成しました。

みなさんに「自分の命は自分で守る、みんなで力を合わせて守る。普段から備えることが大事。」ということが
伝わればうれしいです。

発行者：(幼児向け紙しばい)

令和2年度 宮古市立川井中学校3年 (拓武・優羽・梨緒・木都美)

宮古市箱石4-1 TEL.0193-74-2105